【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【公表番号】特表2006-524467(P2006-524467A)
【公表日】平成18年10月26日(2006.10.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-042
【出願番号】特願2006-507717(P2006-507717)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｍ　1/247　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　1/27　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｍ　1/247
Ｈ０４Ｍ　1/27

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月1日(2007.2.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
第２の格納部２２は、データを書き換え可能な不揮発性メモリであって、ＷＷＷサーバ（図示せず）からダウンロードされたコンピュータプログラムを格納する。図示した例では、第２の格納部２２には、１個のゲーム用アプリケーションプログラム（図には単に「ゲームプログラム」と示される）Ｐ４が格納されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１３９】
次に、中断アプリケーション制御部３０２は、アラーム設定部３０４に対して、アラーム設定画面を表示するよう指示する。アラーム設定部３０４は、予め携帯電話２００に登録されているアラーム情報を使用するか、または、ユーザＡによる詳細なアラーム情報を設定するか、ユーザＡに選択を促すための確認メッセージ画面５０２を表示する（ステップＳ７０３）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１５８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１５８】
リダイヤルアラーム情報削除の確認画面６０３でユーザＡが入力を行うボタン群２０４の何れかを使用して「はい」を選択した場合（ステップＳ８０５のＹ）、アラーム削除部３１０は、中断アプリケーション制御部３０２に対して、着信データを渡し、該当するリダイヤルアラーム情報４１１を削除するよう指示する。中断アプリケーション制御部３０２は、中断アプリケーション記録部３０３に格納されているアラーム情報設定テーブル４００の中から、該当するリダイヤルアラーム情報４１１を削除し、アラーム削除部３１０

に対して、削除完了を通知し、削除完了画面６０４を携帯電話２００の表示画面２０２に表示するよう指示する。アラーム削除部３１０は削除完了画面６０４を表示画面２０２に表示し、１０秒後、携帯電話２００の表示画面２０２に携帯電話２００の通常待ち受け画面６０５を表示する（ステップＳ８０６）。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１５９】
ここで、アラーム削除部３１０が削除完了画面６０４から携帯電話２００の通常待ち受け画面に切り替えるまでの時間を１０秒という例で示したが、削除完了画面６０４は、ユーザＡが確認できればよいため、表示時間は任意でもよい。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１６０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１６０】
また、第１の実施形態と同様に、第３及び第４の実施形態に係る携帯端末装置は、電話機能付きのＰＤＡ（Ｐｅｒｓｏｎａｌ　Ｄｉｇｉｔａｌ　Ａｓｓｉｓｔａｎｔｓ）、電話機能付きデジタルカメラ又は電話機能付きのカーナビゲーションシステムのようなデジタル機器に応用することが可能である。他にも、上述の携帯端末装置は、インターネットアクセスが可能なデジタル機器にも応用することが可能である。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１６３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１６３】
また、第３及び第４の実施形態における各種アプリケーションにより実現される機能及び携帯端末装置の各構成のうち、適切に選ばれたものについても、第１の実施形態で説明したように、集積回路により実現されても構わない。